

9月2日 第21回「わたしの主張遠野地区大会」

中学生が心を込めて主張

同大会は遠野中で開かれ、市内3中学校から7人が出場。「『ジェスチャー』は素敵な言葉」と題して発表した阿部杏海さん(遠野中2)が最優秀賞を受賞しました。阿部さんは、



姉への感謝の思いを伝えた杏海さん

障がいのある姉と身ぶり手ぶりで心通わせる日々を紹介。「偏見なく、みんなを尊敬できる世の中になってほしい」と主張しました。

9月7日 遠野わらすっこまつり&消防フェア

健やかに育て、わらすっこ!

両イベントは遠野運動公園と市総合防災センターで開かれ、家族連れなど約2,200人が来場。両会場で行われた20種類以上の催しを楽しみました。子どもたちは、放水体験



輪投げに挑戦! うまくできるかな~

や特殊車両乗車体験、むかし遊びに児童館コーナーなど、さまざまな遊びや体験をしました。会場には笑顔と歓声が広がっていました。

8月25日 第37回遠野じんぎすかんマラソン

青空の下で遠野路を力走

じんぎすかんマラソンは、ハーフ・10・5・3kmのコース、全19部門で開催。全国から、過去最多となる2,552人がエントリー。あえりあ遠野の前をスタートしたランナーは、

沿道からの声援を受けて自然豊かな遠野路で健脚を競いました。レース後は、じんぎすかんやホップの若芽ソーセージが振る舞われ、遠野の味を堪能しました。

みんなで食べる
じんぎすかん最高~!

1_スタートの合図とともに駆け出すランナーと、声援を送る人たち 2_ハーフの折り返し付近。たくさんの方が遠野の自然を感じながら走り抜けました 3_大会を支えたボランティアの皆さん



9月1日 遠野市交通指導隊設立50周年記念式典

無事故目指して続く活動

同記念式典はあえりあ遠野で開催され、市交通指導隊員ら約120人が参加し、半世紀にわたる活動を振り返りました。50周年を記念して、長年勤続した元隊員に感謝状を、



長年地域の安全を守った元隊員へ感謝状を贈呈

現役の隊員には功労者表彰を贈呈。これまでの活動を振り返り、参加者は、安心安全なまちづくりに向けて気持ちを新たにしました。

9月5日 遠野高校と東北高校生徒の交流プログラム

「働く理由」、みんなの考えは?

交流プログラム(To Know、Next Commons 企画)は、東北高(宮城県)1年59人が3日間、遠野の仕事を通して働き方・生き方を学ぶ校外研修の一環として初開催されました。



円卓を支え合い、意見交換する生徒

遠野高を会場に同校1年60人と交流。「人はなぜ働くのか」をテーマに両校生徒が意見を出し合い、多様な考え方を共有しました。

8月23~26日 武蔵野市家族ふれあい自然体験in遠野

遠野の暮らしで深める絆

友好都市・東京都武蔵野市から15家族46人が来遠し、3泊4日で夏の遠野を満喫しました。遠野ふるさと村で語り部や張山しし踊りを鑑賞したほか、バケツジンギスカンや



遠野ふるさと村で記念撮影

魚つかみ取りなどを体験。民泊先では、受け入れ家族と交流を深め、農作業や遠野の遊び、自然体験などを通して親子の絆を深めました。

8月27日 世界的建築家・安藤忠雄さんが講演

満席の観客に伝える思い

建築家・安藤忠雄さんによる講演会「遠野市から地方都市の可能性を考える」は、あえりあ遠野交流ホールで開かれ、市内外から約600人が来場。参加者は、安藤さんの震災復興や子どもたちの



会場いっぱいの観客に迎えられる安藤さん

未来のために取り組む活動などに聞き入りました。同日、安藤さんは一日市通りなどを視察した他、神楽を鑑賞しました。

9月1日 市防災訓練を実施

市民一丸で地域を守る

防災訓練は市内各自治会で行われ、7,501人が参加しました。訓練は、本年度から運用された警戒レベル3・4で避難行動を発令。一時避難場所や指定緊急避難場所などへ避難しました。



土のう作りに取り組む宮守1、2区の住民

一部の自治会では、消火訓練や心肺蘇生法訓練なども実施。参加者は、災害時の対応を確認して地域の結束を強めました。

8月22日 全国中学校総合文化祭富山大会に出場

ふるさとの宝を未来へ

遠野東中2・3年101人が同文化祭富山大会に本県代表として出場し、遠野の魅力と伝統文化を全国に発信しました。語り部と遠野市民歌、青笹しし踊りで構成した約17分の演



写真提供:青笹町しし踊り保存会

会場から万雷の拍手が送られました

目を披露。情感豊かな表現とともに「ふるさとを守り、文化を伝え続けていきます。どんどはれ」と演目を締め、観客を魅了しました。

8月26日 福崎町小学生交流訪問

『遠野物語』でつながる交流

『遠野物語』の著者で日本民俗学の創始者・柳田國男の生誕地、友好都市・兵庫県福崎町の小学生15人が3日間の日程で本市を訪れました。児童は、博物館を見学したほか、



カッパ捕獲証を手に交流スタート!

佐々木喜善生誕の地、土淵町を訪問。伝承園とカッパ淵を見学した後、土淵小児童と交流を深め、両市町の歴史や文化を学びました。

Newsプラス!
キラッと、遠野人。

故郷「遠野」が舞台の絵本で絵本作家デビュー!

岡安 亜水さん(本市・青笹町出身)

岡安さん(38歳、東京都在住)は本年7月30日、夢だった絵本作家としてデビュー。遠野に思いを巡らせて描いた『メルルとようかいのおしゃれやさん』を出版しました。同デビュー作は、キャラクター絵本出版大賞(CHICORABOOKS主催)で2018大賞を受賞。遠野遺産第14号「伊豆神社」(上郷町)を舞台に、少女メルルと妖怪がおしゃれを楽しむ、不思議でかわいい物語です。岡安さんは、「遠野物語」に載っていない佐々木喜善の話などを絵本にして、遠野の魅力を伝えていきたい」と意欲を新たにしました。

◎岡安さん(ペンネーム:みみつぐみ)とデビュー作『メルルとようかいのおしゃれやさん』

